

## 第2回 富津公園における「整備等の基本的な考え方」検討会議

### 議事要旨

#### 1. 開催日時場所

日時：令和4年10月18日（火曜日）午後2時00分から午後3時30分

会場：千葉県教育会館6階 「608会議室」

#### 2. 出席委員

阿部伸太委員、内山達也委員、関寛之委員、嶋田清一委員、義崎哲也委員、粕谷達郎委員  
椎名誠委員、松本孝委員、相澤修一委員、斎藤和義委員（代理 岩崎美貴委員）、  
堀口正昭委員（代理 宮川治郎委員、平柳好一委員）前田尚志委員（代理 裕 達彦委員）  
井上宣之委員、田村英記委員（代理 松澤好晃委員）

#### 3. 傍聴者

5名

#### 4. 議事

##### 【報告事項】

##### （1）第1回検討会議の整理

事務局 別添資料にて前回検討会議の内容について説明

##### （2）再整備に関する利用者アンケート・民間事業者ヒアリング結果

事務局 別添資料にてアンケート結果等を説明

会長 80人の一般の公園利用者、それから民間事業者の4社にヒアリングを行った結果を報告していただいた。利用者数が施設によって偏りがある、また、施設の老朽化や保安林の扱い方をどうするか。それから海というロケーション、このポテンシャルをどう活かしていくか、そのあたりに関しては現状に課題があり、またヒアリングにおいてもおそらくその辺に課題があるのだと思う。

委員 利用者のアンケート調査80件は指定管理者が実施したとあるが、実際に公園管理事務所を利用した方にアンケート調査したのか、それとも幅広く実施したのか。

事務局 指定管理者のほうで行ったアンケート時期が夏だったということもあり、プール利用者がメインとなっている。そのため、プールの利用者の比率が高い。また、年に2回、これとは別にアンケート調査をしている。その情報も収集できる。

会長 属性も情報として収集しているのか。

事務局 属性も調査している。アンケートの記入者情報のところで、年齢、お住まい、来園頻度、同伴者それについて合わせて調査している。年齢については、成人(子供有)の方が35.4%、成人(子供無)の方が同じく35.4%、高齢者が19%となり、お住まいについては、千葉県内の方が68%、富津市内の方が27%、県外からが5%という結果が出ている。

会長 富津市をはじめ、地元の方々、県民の方々を中心になっている。当然土日や長期休暇は遠方からの利用が想定されるが、公園の日常的利用も含めご意見をいただければと思う。

### (3) 再整備の方向性（テーマごとの事例紹介 等）

事務局 別添資料にてテーマごとの事例等を説明

#### 【審議事項】

#### (1) 富津公園が目指すべき方向性について（自由討論）

会 長 これまでの話を整理し、海辺、見事な眺望、豊かな自然、にぎわい創出アクティビティ、それから歴史遺産という五つのテーマについて、それぞれに想定される事例についてご紹介いただいた。これからは自由討論としたい。

委 員 今回この検討会議に出席するにあたり、大学生から意見を聞いた。数名が「ここは聖地ですよ。」と言明し、アイドルのロケなどが行われていて、明治百年記念展望塔がロケ地になっているので公園に行ったという学生もいた。その他、いくつかの案を簡単にご紹介させていただく。

マラソンや駅伝の練習場として公園が使われており、ランニングコースを実際に走ってみると、車道メインでランナーが安心して走れないのではないかと。ランニングコースのメッカとしての整備をしていくとよい。駅伝の選手たちにとっては、マラソンをするにあたり信号がなく、交差点もないので安定したスピードでタイムを測れるのがポイントではないか。マラソン選手としては、走りやすいスピードが出せる環境を作ってあげる、一般ランナーの方のためには、シャワー施設やカフェなどの休憩施設があると走った後に休めるのではないかと。

遊歩道については、保安林の一部をゆっくり歩ける通路の整備を行うことが良い。夜は真っ暗で何も見えなかったもので、遊歩道の足元にLEDのような雰囲気壊さないようなライトや、昼間でもライトがあると良い。明治百年記念展望塔のイルミネーションや、夜も楽しめるような公園にしたら良い。サウナや岩盤浴などを屋内プールの部分に設置し、ラグジュアリーな施設があってもいいのではないかと。音楽フェスなども野外劇場で定期的に開催していくこと、遊具広場の遊具ももう少し木の温もりがあるアスレチック公園の形にして、もう少し広いスペースを作っても良い。

色々な意見の中から一つのテーマにまとめると、身近な自然に癒しを感じられるようなヘルスツーリズムのような体験ができる公園にしていき、ヘルスツーリズムからさらに一歩進んで、人が健康を感じるというだけでなく、その環境に対しても優しい地域作りができるという意味のウェルネスという考え方がこの公園にあっていいのではないかと。例えば、先端の第3駐車場などは有料化し、公園内の移動手段として電気自動車やトクトクなどで、第1駐車場、第2駐車場に車を停めた人が公園内をぐるりと一周できるような仕組みをつくることで、自然と健康の共存を図ることなどが考えられる。環境と人に優しい、ヘルスという意味からさらに発展させたウェルネスという考え方の公園になっていくと、保安林の森の木陰で佇む、そういうようなイメージがより評価されるのではないかと。

会 長 この公園は保安林が大きな面積を占めている。管轄としては色々やれることとやれないことがある。例えば保安林内を散策路として使う方向性はあり得るのか。

委 員 それは十分にあり得る。富津公園だけではなく、別の保安林でも散策路の整備を行っている。

会 長 その際、あまり大がかりな施設系は入れにくいと思うが、例えばウッドデッキを設置したり、小規模な休憩施設を設置したりすることなどは可能か。

委 員 即答はできないがおそらく可能ではないかと思う。

会 長 最近、高齢者の方々を歩かせるために、デパートでの買い物行為が知らない間に足腰を強めていくことを推進するような取り組みがある。かなりの面積を占めている保安林においても、ウェルネスの立場から、そういったことも一つの方向性ではないか。

委 員 一番大きなテーマとしてはジャンボプールの在り方をどうするかだと思う。その場合、採算性、収益性、その視点というのは外せない。現状を見ると損益分岐点の入場者数まで至っていない。要は赤字ということで、これはなんとか黒字化させ採算のとれるレベルまで引き上げられるか、設備投資をすると損益分岐点が上がってしまうので、そこをどうするか。収益性を上げる一番は飲食店

だが、レストランは老朽化で廃墟みたいになっており、売店でしか食べ物を買えない状況なので、そこをどうするか。地元の農産品や地元の名産品を売れば収益性を高められる。また、富津公園だけではなくても市内にお金が落とすため、地域連携とも絡むが、地元の事業者といかに連携できるか。イオンモールとジャンボプールが連携していて、ジャンボプールの半券をイオンモールに持っていくと、色々な特典が受けられる。地元の事業者のお店に行けば何らかのメリット、小鉢やソフトドリンクサービスが付くなど、そういう市内にお金が落ちる仕組みを作り、トータルで設備投資をしていき、この経済波及効果を算定していくというのも一つ考えられる。

一方でプールの解体という選択肢もあるが、解体した跡地をどうするのか。野外劇場のあたりはポテンシャルがあるのでないかと思う。ロックインジャパンフェスがひたち海浜公園で行われていたのが、今年から蘇我スポーツ公園に移転し、隣の袖ヶ浦海浜公園では氣志團万博が実施されるなど、千葉では日本有数のフェスが行われており、千葉県はフェスのポテンシャルがある。プールよりは設備投資をしなくてもよいで、フェス会場として考えていくのも有効。

保安林については、保安林のまま維持するのがマストなのか。例えば一部解除という選択肢はないのか。愛知県では国家戦略特区を使い、保安林の解除手続き期間の短縮化をして、企業誘致に成功した事例もある。今の段階では、保安林の活用について少し幅広く議論してもよい。

歴史遺産の活用について富津公園にはポテンシャルがあるが、富津だけだと幅が広がっていかないので、例えば千葉県が戦時中にどういう役割を果たしたのか全体として捉えてみて発信していく、そういう他地域と連携する視点での活用の仕方もあるのではないか。

会 長 富津公園の歴史的なゾーンには、いわゆる列車砲を引き込んだ歴史もあるようだ。そういったものをどう受け止めていくのか、そんな視点もある。

委 員 地元として、来訪者の方々からの声で一番多いのは、訪れた方がお土産を買うための、道の駅や海の駅などの販売施設が必要という声が多い。富津公園の有効活用で、今の時期、駅伝やマラソンなどの暑い時期が終わって、合宿のお客さんが増えてきている状況にある。ランナーの方々安心して走っていただける環境、交通事故・歩行者の方との事故が少なくなるような環境作りというところが大事になる。あと、夜の照明が少ない。防犯面での危険性がある。遊歩道に限らず、照明が少ないという意見もあり、照明の増設や防犯カメラの設置について要望する意見もある。一番の懸案事項としては、保安林の規制が強いので規制緩和をしてほしいという意見もある。

委 員 富津岬荘とジャンボプールと併せてリゾートホテル的な宿泊施設があれば、駅伝やスポーツ利用者なども宿泊できるので、キャパを増やすためにも宿泊施設は必要である。シーズンオフでも、来園者が泊まれるような宿泊施設があれば、それなりの賑わいができる。また、富津岬荘の跡地に、例えばタワー展望施設を作るなど検討していただきたい。

会 長 マラソンや駅伝だと冬がメインで民宿が必要になる。夏と冬を考えると、プールと連携していくなどの方向性もあるかもしれない。

委 員 農林水産物や土産物の販売などの施策が補足されていて良かった。特に君津地域では、東京湾アクアラインの混雑が課題となっているので、施設の営業時間延長や、ライトアップ、あるいは飲食店、レストラン等の営業など、非常に共感した。当方でも、ライトアップなど観光政策の検討に入っているので、ご理解いただきたい。

会 長 木更津市の鳥居崎海浜公園では、平日昼間でも女性がそこで食事をしており、夜の時間でもそれなりに楽しめる空間がある。建物系を照らすだけではなく、飲食系が入っている施設で客を引き寄せていくというのもあり得る。

委 員 軍事施設の中で中の島のような形の残っているものの扱い方や、その周りの池をどうするのだとか、そういうところも大事だと思った。公園内のキャンプ場にシャワー施設等はあるが、夏場、キャンプ場が空いている時に、お風呂がないという話をよく聞く。宿泊施設や食事がとれる施設ができるとよい。そのためには保安林がいじれるのかという問題がある。富津岬荘は現在閉鎖しているが、この施設の再利用も考えなくてはいけない。近場で商業施設もできるとよい。人を集めるにはやはりそういう、買う場所や魅力あるものを全体的なバランスを取ってやってほしい。海のレジャーの視点で、様々な海のスポーツをやっている人たちがいるので、公園に船を寄せられる施設の整備や船を洗う施設など、地元関係者に配慮しながら計画してほしい。

委 員 五つのテーマ設定については問題ないと思う。海辺は重要であり、にぎわい創出も大事となると、自然を守る視点からお金を落とす視点になっていくので、この整合性をとるのが多分難しい。

歴史遺産という視点が入っており、総合的にどうやって判断するかというのはよく考えなくてはいけない。例えば、海外の事例で多いのは、入口が決まっただけで広い公園内にいろいろな自然的なものを置いていくというものが多くある。今回の富津公園の場合は、公園内にいろいろなものが入っており、民間のものも入っており、統一的にできるのかどうかが多分一番難しいと感じる。また、千葉県は、東京から近いので、イベントや音楽関係のフェスが頻りにある。これと、海やレストランと整合性がとれるのかということが課題である。富津岬は景観・眺望・場所的に、千葉県としてかなり形が変わっている特異な場所であり、ここをうまく使えるようなプログラムや仕組みができれば良い。

観光の仕組みは収益性が重要であり、綺麗な景色だけあっても維持が困難になってしまうので、例えば入場料を取り公園を守っていくという体制づくりが必要じゃないか。多くのお客様を呼べる大きなシアターや、それとセットで料金を徴収するシステムがあれば、維持費に使える。全体的な仕組みを作っておかないとバラバラになってしまうので、全体の仕組みができれば良い。

委員 日本近代西洋公園の先駆けと言われている日比谷公園は、本多静六という学者が作ったときに、まさにその収益性というのをそれなりに考えて、公園内に松本楼というレストランや野外音楽堂が入っている。自前で稼げる公園は、観光という視点だけではなくて、日常的なスタンスでもやっぱり大事である。

委員 公園が老朽化していることは確かである。昔は、大きなホテルに大きな宴会場や温浴施設もあり、横浜行きの船も出ていて、富津公園は賑わっていた。今は、大手の企業が手を引いてしまい、公園だけが残っている。公園の再生には大きな資本が必要である。今までいろいろと多方向に働きかけを行ってきたが、挫折してきた。しかし、今は資金がなくてもできることはある。かつては、公園の中にある憩いのゾーンの池は、昔は船が通過していた。関東大震災で通過できなくなったが、そんな風に、資金を使わずに自然を生かした公園の活用方法はいくらかもある。そういった部分で、知恵を出し合って、進めていってもらえればと思う。この付近の海岸で地引網をやっているが、それを目的に北海道からの修学旅行客が宿泊予定である。マラソンを含めて、多くの生徒が宿泊できるような、しかもここが、第1の目的地になるような場所にしないといけない。また、普段から泊まってもらわないといけない。温泉施設がなくなったのも大きい。

会長 富津岬だとか、ホテルだとか、そういったところも一体的に、少し手を入れていくことも一つの方向性かなと思う。地引網は興味深い。

委員 稲毛海浜公園ではトレーラーを使い飲食店などを出して、施設を作らず短期間だけという形でかなり賑わっていた。大きいトレーラーを全部で11台ぐらい出し、プールもリニューアルされ、保安林の中に椅子を置いておくだけという使い方であったが、結構人が来ていた。まずは、保安林の解除を考えるより、保安林は必要性があって保安林になっていることから、その機能をちゃんと押さえつつ、どういうふう利用していくかを考えても良い。

最近、観光客の志向性は随分変わってきていて、1人旅が相当増えている。小人数で2人程度以下というのが旅行者の大体6割近くになっているというデータもある。観光客はゼロサムの世界なので、他の観光地の観光客をこちらに剥がして持ってこなくてはならない。新しいニーズを作り、そこに引っ張っていくということしかないと思っている。例えば、先程話の出た特殊な形をした公園形状は、おそらく関東圏にはないだろうという知見を持っているので、そこをちょっと押し出し、公園としての特色を前面に出していければ可能性があるという気がした。

会長 事例のところ、稲毛海浜公園の事例も入れたらいいかもしれない。

委員 公園のテーマ5種類のうち「海辺」や「眺望」が自然公園に関係してくるが、この公園は、自然公園の第1種や第2種の地域に指定されている。第1種特別地域というのは保安林や第一海堡の方まで広がっており、基本手を付けてはいけない区域である。自然公園区域内にある都市公園の施設は、高さ13m以下面積1,000㎡以内であれば、増改築ができるという規定がある。どこにどんなものができるのか固まってきた段階で、ご相談いただければと思う。第1種特別区域に指定されている場所には、海浜植物の天然記念植物に指定されているところもある。何か開発をするときには、事前に環境調査を実施し、ライトアップしても植物に影響がない様に配慮いただきたい。自然への配慮も考慮することで、ウェルネスという人にも自然にも優しいという考え方に繋がっていく。歴史遺産の面では、南房総市の大房岬という場所があるが、東京湾内の軍事要衝だった場所であり、地域と連携して歴史遺産としてツアーなどを行っている。参考となるかもしれない。

会長 海浜植物のエリアをデータとして入れておいた方がよい。特別地域や海岸からどこまでが海浜植

物のエリアなのか、その辺も見られるといろいろと総合的に判断できるのではないかと。

委員 一般公共海岸区域については、海岸線から带状に我々が管理する区域があり、ここに工作物を構築することになると、そこは占用等の許可が必要になるのでご相談いただく必要がある。ただ、海岸については基本的には皆様が自由に使っていただけるようになっているので、占用等伴わないのであれば自由に使っていただいて問題ない。

委員 第一海堡は昔歩いて渡っていたため、元に戻せないかという相談がよくあるが、自然保護区域であるがゆえに何もできない状況である。先端の方ではマリンスポーツが盛んだが、モータースポーツに対して、特にモーターパラグライダーは日中に近隣の住民の方からうるさいというご指摘を受けることが多々ある。マナーの部分を含めて今回の再整備の方向性を検討していただければ。

会長 近隣の方の理解があってこそその公園だと思う。第一海堡まで歩いて渡れたと私も認識しているが、やはり無理なのか。それはルール上、厳しいのか。

委員 今は、危険で渡ることはできない。

委員 海岸線を元に戻そうとしていろいろと対策を行ったが、元には戻らなかった。

委員 やはり宿泊施設というのが一つ大きな課題だと思うが、同時にお土産とかそこで消費する仕組みも大事である。明治百年記念展望塔や遊具広場辺りで休憩ができて、ゆっくり過ごせる時間を作るとそこに消費が生まれ、一泊するということでもたまた消費が跳ね上がる。特にマラソン、大学の駅伝部等もここには非常に多くの人があるから、民宿の方々を圧迫しないような形で学生たちが安く泊まれ場所は非常に大事になる。富津岬荘が違う形で戻ってくると、そこでの滞在時間が長くなり、消費も増えていくのでは。

委員 富津公園は海で囲まれており、景観も含め海の活用が大きなテーマ。千葉県がそもそも三方海に囲まれているが、果たして海を観光資源として有効に活用できているのか。全都道府県対象のアンケートでは、1位は東京ディズニーランド、2位が九十九里浜であった。県以外の人から見ると千葉のイメージは海となる。富津公園は、ジェットスキーやウインドサーフィンをしている人がいるが、その人たちが大手を振っているのか、ローカルルールが定められていて、それもよくわからない中でやっているとしたら問題である。ローカルルールをきっちり定めて、一定のルールを守ればウェルカムだが、安心安全や住民への配慮など含めて、しっかりローカルルールを決めて海を楽しむ方針を打ち出すだけでも相当来園者が増えるのではないかと。ジェットスキーを洗う洗車機や温水シャワーなど、そういう施設を整備するだけでも、ある意味お墨付きを与えることになる。

委員 ルール・運営については千葉県でやらなきゃいけないと思うが、お金を持った方たちがやっているから、ルールを作って千葉県の富津公園ではできますよと発信し、お金を落としてもらって泊まれる仕組みをつくれればいいと思う。来園を断ってしまうと全然前に進まない。昔千葉の海はサーフィンお断りだったが、今現在はオリンピックでサーフィンを開催し、たくさんのお客さんが来ている。時代は変わってきており、ぜひ検討してほしい。

会長 私も先週、千葉県をドライブしてきたが、海沿いにサウナとカフェが一緒になったような施設があり本当にいいと感じた。他の委員が言ったように、海の活用というのはすごく大事なテーマである。それから、水上スキーなどする人はそれなりに金銭的な余裕がある、であれば、宿泊施設などとうまくリンクさせていくことも必要である。富津公園も東京と千葉市という良い市場を持っており、アーバンリゾートとしてのポテンシャルがある。今回のお話を少し整理させていただいて、また次の機会に、さらに皆さんから発言をいただきたい。

以上